

## 事前要請

平和センター発 21 号  
2017 年 7 月 19 日

各加盟団体代表・担当者  
個人会員様

神奈川平和運動センター  
代 表 福田 護  
事務局長 小原慎一

### 原子力空母ロナルド・レーガン横須賀配備抗議！母港撤回を求める 10.1 神奈川集会の開催案内と協力要請について(案)

連日の行動に心から敬意を表します。

早速ですが、第 24 回総会で確認したとおり、原子力空母ロナルド・レーガン横須賀配備撤回にむけて、10 月 1 日（日）、午後 3 時 00 分より、ヴェルニー公園（横須賀市内）で標題の集会を開催する予定となっています。会場については、横須賀市の条例により使用日の確定が二週間前となっていますので、改めて正式文書を送付します。

ご承知の通り、1973 年に始まった空母ミッドウェイの横須賀母港から本年度で 44 周年になります。空母の横須賀母港が神奈川県民に与えたものは、基地の機能強化（2017 年までに空母随伴艦の 12 隻体制）、航空機の騒音（今夏、第五次厚木爆音訴訟が提訴。他方今秋にも岩国へ艦載機移駐が開始）、艦船事故（随伴艦が 1 月に横須賀港内で浅瀬に接触し油の流出事故、6 月に石廊崎沖で民間船と衝突事故発生）、墜落事故、核疑惑、米軍住宅増設、多発する米兵の犯罪、そして東電福島原発事故をみれば明らかのように、原子力空母の放射能災害の危険性が健康で文化的な生活はおろか、生きる権利さえ奪われかねない不安が高まっています。どれひとつとっても受け入れできない事態となっています。トランプ政権後、日米両政府は、北朝鮮近海で米空母の威嚇行動を展開するなど緊迫度を著しく高め、新ガイドライン体制下で日米共同対処能力の向上、日米軍事の一体化の強化が進められることに警戒しなくてはなりません。こうした情勢をふまえ、神奈川平和運動センター及び三浦半島地区労は、横須賀市民と共に全国の仲間と連帯し横須賀配備撤回にむけて抗議行動を展開します。

つきましては、様々な行動が重複していますが、事情をご理解のうえ、ご協力を御願すると共に、下記のとおり各構成団体等に要請をします。

記

#### 一. 原子力空母ロナルド・レーガン横須賀配備抗議！母港撤回を求める 10.1 神奈川集会について(9 月 12 日の幹事会で再確認します)案

1. 日時 10 月 1 日（日） 集会 15:00 から デモ行進 16:00 から（予定）  
\* 同日に全労連系が同主旨の集会を計画しているため  
時間調整をしています。調整後、あらためてお知らせ  
します。
2. 場所 横須賀市ヴェルニー公園（神奈川県横須賀市汐入町 1 丁目）